

## 2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	災害診断補修小委員会 主 査 名：池田 憲一 就任年月：2011 年 4 月	
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会 委員長名：田中 哮義	
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	(設置目的)： 建築学会として建築物の災害診断及び補修・補強方法の指針を作成する。 (各年度活動計画) ・2009年度：「建物の災害診断及び補修・補強方法指針(案)」の作成、出版・講習会の開催、指針案の修正、指針案付録部分の充実・本文への移行作業 (CFT、合成スラブ等) ・2010 年度：指針案修正版(指針)の作成、RC・S 造以外各種構造の災害診断・補修法の検討 ・2011 年度：指針の作成、RC・S 造以外各種構造の災害診断・補修法の検討 ・2012 年度：指針作成継続、RC・S 造以外各種構造の災害診断・補修法の提案を委員会資料として完成	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	池田憲一(清水建設)、吉田正友(日本建築総合試験所)、宮本圭一(鹿島建設)、森田武(清水建設)、上杉英樹(元千葉大学)、大橋宏和(竹中工務店)、梶田秀幸(前田建設工業)、黒岩秀介(大成建設)、近藤史朗(清水建設)、阪口明弘(日本建築総合試験所)、杉田和直、高橋一郎(フジタ)、高橋晃一郎(大林組)、棚池裕(東京理科大学)、松戸正士(フジタ)	
設置 WG (WG 名：目的)	・コンクリート系 WG：(目的) RC造部分の災害診断及び補修・補強指針の作成。 ・鋼系 WG：(目的) S造部分の災害診断及び補修・補強指針の作成。	
2011 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	12 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 指針作成に関しては RC 系と S 系の概念統一方法に力を注いだ。達成度 90% 2. 新しい知見・海外を含めた様々な診断方法について検討した。達成度 70% 3. RC・S 造以外各種構造の災害診断・補修法については未完成。達成度 20%
委員会活動の問題点・課題	1. 指針作成の課題：建物に対する価値観や被災後の建物に期待される性能が、指針作成着手時から変化してきており、指針はどのようにこの変化に対応すべきかが大きな課題となっている。 2. 高強度鋼材や免震装置などの新しい材料に対する診断方法の必要性が増してきており、これをどう指針に反映するか。

